

テレビ東京 情報システム局 川根 優也 氏 (高校59期)

2007年3月 立川高校 卒業
2011年3月 電気通信大学 情報通信工学科 卒業
2013年3月 電気通信大学大学院 情報・通信工学専攻 修了
同年4月 テレビ東京 入社(情報システム局)



こんにちは。立川高校59期卒の川根です。紫芳会から突然の依頼を頂きとても驚きましたが、年齢でいえば10歳も離れてる・・・逆に10コくらいしか変わらない？そんな後輩の皆さんに、何かの参考に少しでもなったら良いなと思い、高校時代から今までを振り返りたいと思います。

まずは**高校時代**。進学指導重点校になったとか自作作成問題の1期生とかで入学しましたが、高校時代の思い出はとにかく「行事」と「部活」です。(学業をおろそかにして良いと言ってるわけではありません。) **行事**は、入学して「新歓」に始まり「合唱祭」「臨海教室」「体育祭」「立高祭」など、皆さん分かんと思うので多くは書きません。そのうち、多摩モノレールに乗れば「緑地」変わってないなあなどと懐かしむ日が皆さんにも来るでしょう。**部活**は、野球部で男子マネージャーとして所属させてもらってました。現役の野球部員には102期と言った方が分かりやすいでしょうか？斎藤佑樹(早実)・田中将大(駒大苫小牧)の夏の決勝と言っても、皆さんには記憶にないかもしれませんね。立高野球部では、同期の部員・女子マネが22名と仲間に恵まれ、いろいろ自由にやらせていただきました。当時部長の神方先生に「自分でレールをひいて」と言われたことが印象に残っています。その言葉を胸に、ボールを縫うのはもちろん、グラウンド整備のトンボを作ったり、ときにはキャッチボールの相手になってみたり、3年間好きな野球に関わらせていただきました。

大学受験の話をする、進路を考える上でどんな学問があるのか調べると思いますが、私は電気電子情報通信のあたりに**興味**を持ちました。テレビとか携帯電話とか、身近な家電類がどんな仕組みになっているのかな？とその程度の気持ちです。第一志望の東京工業大学には落ちましたが、電気通信大学に滑り込むことができました。(後期日程の受験は立高卒業式の後でした)

そして**大学時代**。大学では、せつ々なので学業中心にやってみようということで、サークル活動やアルバイト等は全くしませんでした。1年生の頃は、実験のレポートなど課題に追われるだけの感もありますが、それを乗り越えると授業コマ数も減っていき、**専門的な内容を楽しめる**ようになっていきました。教養の数学で学んだ「フーリエ変換」が世の中でどれだけ使われているかを情報通信の授業で知った時は、とても**感動**した記憶があります。研究の分野で選んだのは、「画像の圧縮」です。JPEGという規格はもともと知っていましたが、その仕組みに「人間の視覚特性」が考慮されているという点に**魅力**を感じたからです。その後、学生の半数以上は大学院に進学するという環境でしたので、学部生としては就職活動せずそのまま進学し、6年間電通大にいました。

就職活動は大学院生のときです。23歳にもなって「社会に貢献したい」とか言えれば素晴らしいのですが、軸にしたのは「**自分の好きなこと**」でした。一生に一度の新卒採用なんだから好きなこと・やりたいことにチャレンジすべきだと思ったからです。いわゆるテレビっ子だったので、放送業界しか注目してませんでした。周りがIT系に進む人が多いのもあり「**自分がテレビの仕事やらないで誰がやるんだ**」という気持ちは持っていました。目標として言い続けたのは「**オリンピック中継で放送技術の日本代表になる**」ということです。最後の最後にテレビ東京の技術職として拾ってもらい、就活を終えました。

入社してからは情報システム局というIT部門に配属されました。仕事は想像していたものとは違い、結局ITか・・・なんて思いましたが大学で学んだことを活かしつつ現在3年目になりました。1年目の秋には2020年の東京オリンピック開催が決まり、31歳の自分が目標に近づいているようにと心に秘めて、いま自分にできる仕事をしています。

最近の立高との関わりというと・・・高校野球は最後の夏に引退して終わってしまうのが普通ですが、立高では卒業後も夢のつづきがありました。OB会が「**マスターズ甲子園**」に参加していて、現在19歳～73歳までの永遠の球児達が立高のユニフォームを着て硬式野球を楽しんでいます。私も参加しており、2011年度に東京大会を勝ち抜いて代表として甲子園に行きました。(「輝く先輩たち」第1号に掲載あり。私も写ってます。)この5月には、東京大会で3年ぶり2度目の**優勝**を果たし、再びの甲子園出場へ向けて活気づいています。



最後になりますが、**伝統や織のつながりの強さ**が立高という組織の凄いところだと実感します。きっと、野球部に限ったことではないでしょう。本当に立川高校出身で良かったと思います。大学受験に際して不安になったりするかと思いますが、ある人がこんなことを言っていました。「どこの大学に行こうと、履歴書に立川高校卒業の経歴があれば充分戦っていける。」私自身、これはウソじゃないと思っています。今になって良く分かりますが、そう言えるだけ**大先輩方が素晴らしい活躍をなさっている**ということです。同時に、私たちの世代もそれに続けるように頑張らないといけないとも感じ始めました。

後輩の皆さんは、まず今の立高生活を楽しんでください！そして卒業後に、その経歴を活かす時が来たら存分に発揮してください。いつか、先輩に恩返ししなければと感じる時が来たならば、そのときは後輩のために協力してあげれば良いと思います。それでは。